



# 自分流枕草子

3組35番 M.Y



# 春



・春は新学期。

ことしげし朝に

鏡の前で自慢気に帽子をかぶる

弟の姿がおもしろし。

階下から聞こえる朝食を知らせる

母親の声もひさしく感じ

またおもしろし。



# 夏

・夏は祭り。

下駄の音とだんだん重なる  
太鼓と人々の声が  
夏を感じさせいとをかし。  
想いを寄せていたあの人に  
会いたいと思ふ恋心から  
歩き急ぐさへあはれなり。



# 秋

・秋は体育祭。

苦手ながらも嘆きつつ

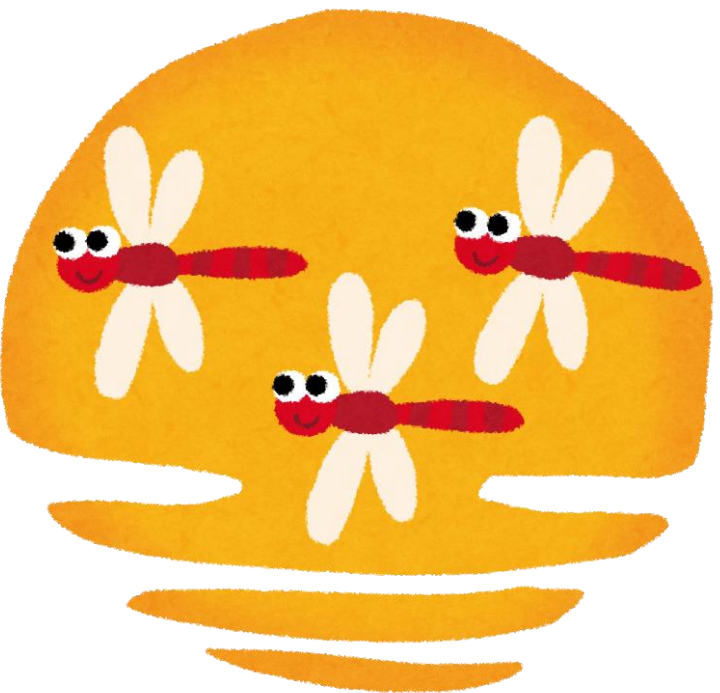
やすらはしながら走った徒競走。

信号色のハチマキが混合しあう図は  
上から見るとさらにをかし。

母の手作り弁当を頬張りながら

友人と笑いあった時間は

忘れぬ思い出となるのをかし。



# 冬

・冬は年越し。

紅白派の我が家はカラオケ状態なり  
宴状態はいつにも増していとおもしろし。  
年越し時には毎年必ずジャニーズで  
締めくくり、なほ宴状態なりけり。  
散乱したみかんの皮たちと一緒に  
年越し迎えるのもまたをいとをかし。

